

名古屋なんでも調査団、初の公開調査に踏み切る

調査団報告書

調査No.44

調査内容

鶴舞公園にトラがいたって本当?

調査手順

トラってトラネコじゃなくて? ジャングルにいるあのトラのこと? 鶴舞公園は確かに緑が多いけど、いくらなんでもトラがいたなんてことは…まさかかね…と思いつつ調べてみると…

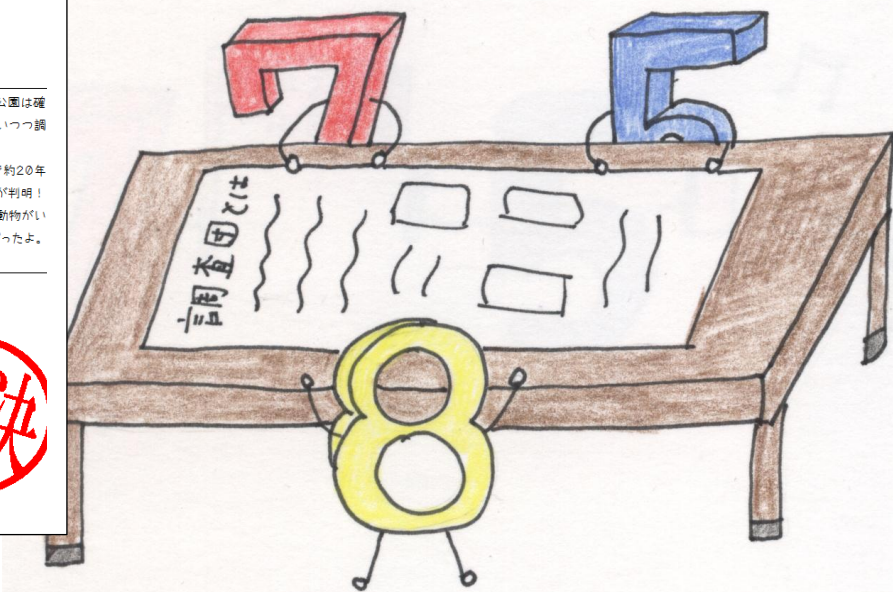
な、なんと! 鶴舞公園には、大正7(1918)年から昭和12(1937)年まで約20年間、鶴舞公園附属動物園(後に、市立名古屋動物園)があって、トラがいたことが判明! トラ以外にも、ライオンやゾウ、ワニ、オットセイ、ペリカンなどなど、たくさんの動物がいたんだって。開館当時の観覧料は大人一人につき五銭、子供一人につき三銭だったよ。

調査結果

鶴舞公園にトラはいた!! 今は鶴舞公園内のどこにもトラはいないけど、図書館の駐車場の南方で、当時の動物園の門柱を見ることができるよ!

<参考文献>

- 『名古屋市立鶴舞公園附属動物園要覧 昭和9年』
- 『名古屋市鶴舞公園動物園要覧(編) 名古屋市鶴舞公園動物園 1928』
- 『市立名古屋動物園要覧 昭和7年』
- 『名古屋市鶴舞公園動物園要覧(編) 名古屋市鶴舞公園動物園 1932』
- 『名古屋市條例第5号』名古屋市公報 第198号、大正7年9月26日
- 『名古屋市告示第89号』名古屋市公報 第461号、昭和12年3月20日



名古屋なんでも調査団マスコットキャラクター 758くん

平成三〇年二月一六日(金) 館内整理日

迷宮入りの予感のする動物園平面図の謎の龍について、来月からの名古屋市動物園百周年企画に合わせて、**名古屋なんでも調査団**の事業として広く情報提供を呼びかけることが決定した。調査団初の公開調査だ。そもそも名古屋なんでも調査団は、図書館資料を使って調べ物のお手伝いをするという図書館の仕事、知る人ぞ知る伝説のレファレンスサービスをもっと知ってもらおうと、平成二四年に結成されたものだ。したがって、その調査範囲は、図書館資料とインターネットの情報ということになる。公開調査はレファレンスサービスの枠を越えてしまっ気がするけれど、名古屋の歴史や文化を楽しんでもらうことも図書館の仕事だよな?